



# かぜとは限りません

せき  
—湿った咳と乾いた咳—

指導：複十字病院 院長 工藤 翔二

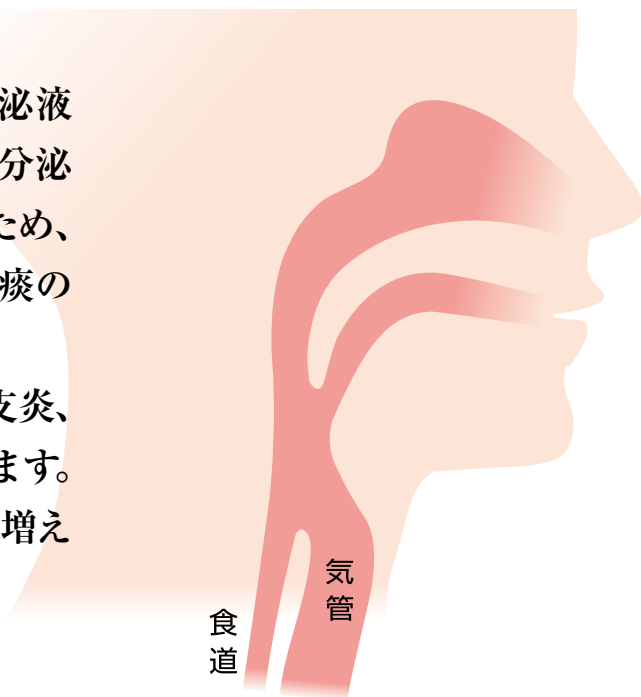
企画：  
日本医師会

No. 285

## 湿った咳とは？

私たちの気管支の粘膜からは、気管支を守るためにたえず分泌液が出ていて、知らないうちに食道へ飲み込まれています。炎症で分泌液が増えると、一部が食道から気管支の中に入り呼吸を妨げるため、咳によって口の中に出されます。それが痰<sup>たん</sup>ですが、湿った咳とは痰の出る咳で、気管支の炎症によって分泌液が増えている証拠です。

湿った咳は COPD (慢性閉塞性肺疾患) といわれる慢性気管支炎、肺気腫、そして気管支拡張症などで起こり、慢性的に痰が出ます。注意しなければいけないのは結核で、最近は高齢の方の結核が増えています。



## 乾いた咳とは？

一方、乾いた咳 (空咳) は痰の出ない咳です。かぜの場合が多いのですが、ときには間質性肺炎や肺がんのことがあります。その場合はレントゲンや CT 検査でわかります。

レントゲンで影がないのに咳が続く場合は、気管支炎が治った後に尾を引いていたり、なかには成人の百日咳やアトピー<sup>がいそう</sup>咳嗽、夜中から朝方に出やすい咳ぜんそくなどの病気が考えられます。

## 放っておいてはいけません

咳が出て、どうせ かぜ だろうと放っておくのは禁物です。痰が出る湿った咳の場合、鼻が悪いために鼻汁がのどに回って、痰のようにみえることがあります。また、胃液が食道に逆流する胃食道逆流症によって、コンコンという乾いた咳が出ることもあります。咳は意外な原因でも起こるので、長引いたら一度かかりつけの医師にみてもらいましょう。